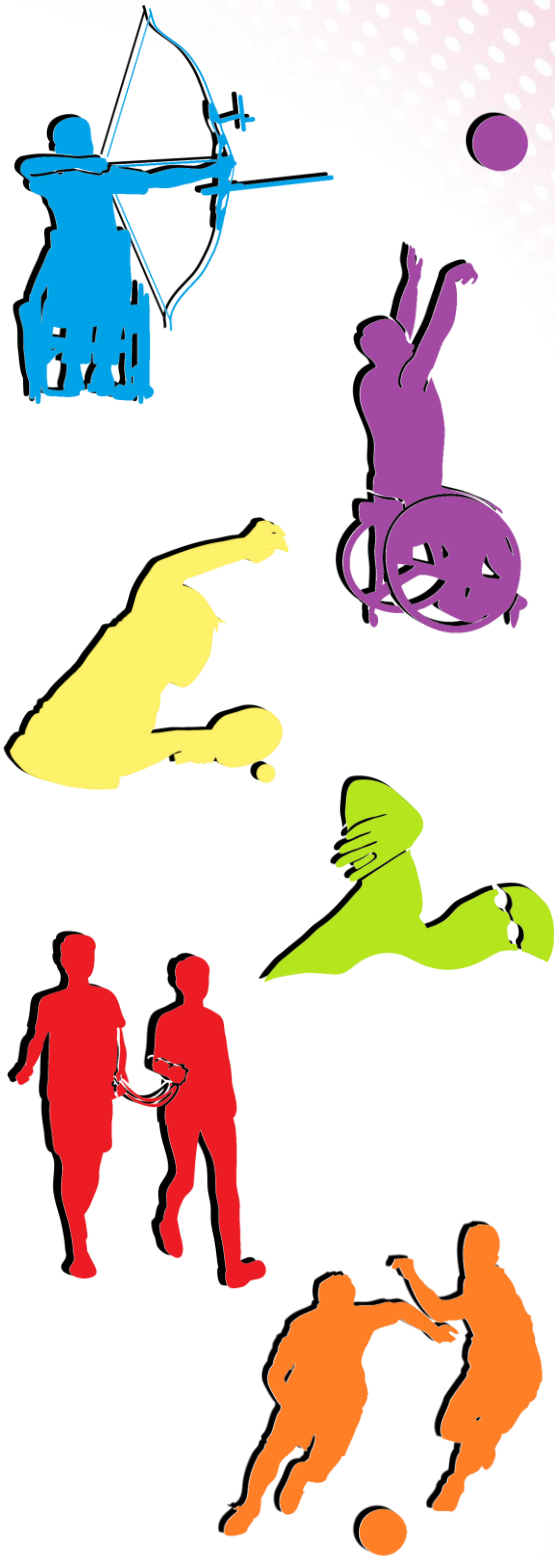


第22回 栃木県障害者スポーツ大会

大会プログラム VII

ボウリング



令和8年5月24日

日

宇都宮第二トーヨーボウル

主催

栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、(福)栃木県社会福祉協議会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、
栃木県特別支援学校長会、(特非)栃木県障害施設・事業協会、(一社)栃木県手をつなぐ育成会、
栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、(一財)栃木県精神衛生協会、(特非)栃木県障害者スポーツ協会

目 次

大会概要編

1	大会実施要綱	3
2	大会競技実施要項	9
3	大会日程	11
4	大会役員名簿	12
5	参加選手数一覧	13

競技編

6	ボウリング	17
7	凡例〈特記事項、補装具〉	23

大会概要編

第 22 回栃木県障害者スポーツ大会実施要綱

1 目 的

この大会は、県民総スポーツを推進し、障害者が競技等を通じて健康の保持・増進を図るとともに、県民の障害に対する理解を深め、障害者の自立と社会参加を促進することを目的とする。

2 主 催

栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、(福)栃木県社会福祉協議会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、栃木県特別支援学校長会、(特非)栃木県障害施設・事業協会、(一社)栃木県手をつなぐ育成会、栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、(一財)栃木県精神衛生協会、(特非)栃木県障害者スポーツ協会

3 主 管

(一財)栃木陸上競技協会、(一社)栃木県水泳連盟、栃木県パラアーチェリー協会、(一社)栃木県卓球連盟、栃木県障害者フライングディスク協会、栃木県ボッチャ協会、(一社)栃木県バスケットボール協会、栃木県ソフトボール協会、栃木県バレーボール協会、(公社)栃木県サッカー協会、栃木県パラスポーツ指導者協議会

4 後 援

各市町、栃木県市町村教育委員会連合会、日本赤十字社栃木県支部、(福)とちぎ健康福祉協会、(公財)栃木県スポーツ協会、栃木県民生委員児童委員協議会、栃木県肢体不自由児者父母の会連合会、栃木県青少年団体連絡協議会、栃木県地域婦人連絡協議会、栃木県ボランティア連絡協議会、栃木県手話通訳問題研究会、朝日新聞宇都宮総局、読売新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、産経新聞社宇都宮支局、東京新聞宇都宮支局、下野新聞社、共同通信社宇都宮支局、時事通信社宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、栃木放送、エフエム栃木、とちぎテレビ

5 協 賛

宇都宮西ライオンズクラブ、全日本電機・電子・情報関連産業労働組合連合会栃木地方協議会、(株)大和義肢製作所、(株)伊藤園、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(一社)栃木県理学療法士会、本田技研工業株式会社

6 実施競技・期日・会場

競技名等		期 日	会 場
開会式・閉会式			栃木県総合運動公園 カンセキスタジアムとちぎ
個人 競 技	陸上競技	5/17 (日)	栃木県総合運動公園 カンセキスタジアムとちぎ
	アーチェリー		宇都宮市みずほの中央公園 アーチェリー場
	卓球 (サウトテーブルテニス含む)		とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター (わかくさアリーナ)
	フライングディスク		栃木県総合運動公園 多目的広場 (投てき場)
	ボッチャ		とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター (わかくさアリーナ)
	水泳	5/24 (日)	日環アリーナ栃木 屋内水泳場
	ボウリング		宇都宮第二トーヨーボウル
団 体 競 技	バスケットボール	9/19 (土)	日環アリーナ栃木 メインアリーナ
	車いすバスケットボール		
	ソフトボール	9/27 (日)	栃木県総合運動公園 野球場B
	フットソフトボール		栃木県総合運動公園 野球場A
	バレーボール	10/4 (日)	日環アリーナ栃木 メインアリーナ
	サッカー		

※ 荒天又は感染症の流行などのその他の都合により、主催者と競技主管団体等と協議の上、実施出来ないと判断した場合は中止とする。

7 競技種目及び障害区分

- (1) 各競技における実施種目及び個人競技の障害区分は、次のとおりとする。
　　< (別表) 栃木県障害者スポーツ大会競技・種目 > 参照
- (2) 各個人競技はフライングディスク及びアーチェリーを除き年齢（令和 8（2026）年 4 月 1 日現在）を次の区分に分けて競技するものとする。
 - ① 身体障害者 1 部（39 歳以下）、2 部（40 歳以上）
 - ② 知的障害者 少年の部（19 歳以下）、青年の部（20 歳～35 歳）、壮年の部（36 歳以上）※ 精神障害者については、年齢区分はありません。

8 大会参加選手資格

次の全てに該当する者とする。

- ① 令和 8（2026）年 4 月 1 日現在で 13 歳以上の者。
- ② 栃木県内に現住所（住民票のある地）を有する者。または、栃木県外に住所を有する者で、栃木県に所在する学校や施設等に通学並びに入所及び通所している者。
- ③ 資格要件は次のとおりとする。
 - ア 身体障害者は、身体障害者福祉法（昭和 24（1949）年法律第 283 号）第 15 条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者。
 - イ 知的障害者は、厚生事務次官通知（昭和 48（1973）年 9 月 27 日厚生省発児第 156 号）による療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のある者。
 - ウ 精神障害者は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、自立支援医療（精神通院）受給者証の交付を受けた者。

9 参加制限

- (1) 参加は、原則として一人 1 競技とし、同一競技内では 2 種目までとする。ただし、陸上競技及びアーチェリーにおいては 1 種目のみとする。（陸上競技の 4 × 100m リレーは除く）
- (2) 4 × 100m リレーは、団体ごとに男女混合 2 チーム（1 チーム 6 名以内。）までとする。

10 参加費

無料（但し、ボウリングは参加費がかかります。）

11 参加選手の決定

参加選手の決定は、各参加団体からの参加申込書に基づき、主催者において、障害別、程度別、性別、年齢等を考慮の上決定するものとする。

12 競技規則

「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び別に定める「栃木県障害者スポーツ大会競技規則」によるものとする。

13 表彰

- (1) 個人競技の各競技種目の組ごとに 1 位から 3 位の者にメダルを授与する。
- (2) 団体競技の優勝チーム、準優勝チームに賞状、メダルを授与する。

14 オープン競技・期日・会場

競技名	期日	会場
卓球バレー	8/29（土）	とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター （わかくさアリーナ）

15 健康・安全管理

- (1) 参加選手の健康・安全面については、各参加団体において十分配慮するものとする。主催者においては、大会当日の応急処置を除き、一切責任を負わないものとする。
- (2) 各参加者の傷害保険については主催者において加入するが、各参加団体においても必要な保険に加入するなど配慮すること。

16 その他

第 25 回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおもり障スポ」への出場選手は、原則として、本大会の記録を勘案し選考するものとする。また、選考の際には、全国大会出場未経験者にも配慮するものとする。なお、原則として全国大会への連続出場は 3 回までとする。

(別表) 栃木県障害者スポーツ大会競技・種目

1 陸上競技

◎男女別・年齢区分別

△男女混合・年齢区分なし

▲男女別・年齢区分なし

	区分番号	障害区分	競走							跳躍			投てき						
			※2 30m	※2 50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	※1 4×100m リレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ビーントラッグ投		
肢体不自由	1	1 手部切断、片前腕切断、片上肢不完全 片上腕切断、片上肢完全		◎	◎								◎	◎	◎	◎			
			2	両前腕切断、片前腕・片上腕切断 両上肢不完全		◎	◎				※4 ◎			▲	◎	◎			
				3 両上腕切断、両上肢完全		◎	◎							▲	◎	◎			
	2	下肢	4 片下腿切断、片下肢不完全		◎	◎								◎	◎	◎	◎		
			5 片大腿切断、片下肢完全		◎	◎								◎	◎	◎	◎		
			6 両下腿切断		◎	◎								◎		◎	◎		
			7 片下腿・片大腿切断、両下肢不完全	◎	◎									◎		◎	◎		
	3	体幹	8 両大腿切断、両下肢完全	◎												◎	◎		
			9 体幹 ※3		◎	◎								◎	◎	◎	◎		
			10 第6頭髄まで残存		◎	◎					◎							◎	
			11 第7頭髄まで残存			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎						◎	
	4	車 脳 い 原 す 性 常 麻 痺 、 以 使 外 用 で	12 第8頭髄まで残存			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎		
			13 下肢麻痺で座位バランスなし			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎		
			14 下肢麻痺で座位バランスあり			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎		
			15 その他車いす													◎	◎		
5	(脳性麻痺、脳原性麻痺、脳血管外疾患等)	16 四肢麻痺で車いす使用	◎	◎							◎						◎		
		17 けて移動		◎							◎						◎		
		18 片上下肢または片上肢で車いす使用		◎							◎					◎			
		19 上肢で車いす使用	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎	◎			
		20 その他走不能	◎												◎	◎			
		21 上肢に不随意運動を伴う走可能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎		
		22 その他走可能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎		
6	視覚障害 ※5	23 電動車いす常用	◎							◎							◎		
		24 視力0から0.01まで ※6		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎		
7	聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	25 その他の視覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎				▲	◎	◎	◎	◎		
		26 聴覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎				▲	◎	◎	◎	◎		
8	知的障害	27 知的障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎		△	▲	◎	◎		◎			
		28 ぼうこう又は直腸機能障害		◎						◎				◎	◎		◎		

※1 4×100mリレーは男女混合とする。
 ※2 30m及び50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。
 ※3 体幹とは頭部・胸部・腹部および腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する)。ただし、四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない。
 ※4 複数の障害区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。
 ※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。
 ※6 障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

2 水泳

◎男女別・年齢区分別

○男女別・1部

●男女別・2部

	区分番号	障害区分	自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ			
			25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m		
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			2	片前腕切断、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			3	片上腕切断、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			4	両前腕切断、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			5	両上腕切断、両上肢完全、片前腕・片上腕切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○
		下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			7	片大腿切断、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			8	両下腿切断、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			9	両大腿切断、両下肢完全、片下腿・片大腿切断	◎	◎	●	○	●	○	◎	
	上下肢	10	片上肢切断・片下肢切断 片上肢不完全・片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
		11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全 両上肢不完全・両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎		
	2	脳 車 い す 常 用 以 外 の	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			13	第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎			
			14	第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			15	下肢麻痺で座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○
	3	(脳 性 麻 痺、 脳 血 管 疾 患 等、)	16	下肢麻痺で座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			17	四肢麻痺(車いす常用) 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎			
			18	両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎	
			20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○
			21	その他走可能	◎	◎	●	○	●	○	●	○
	視覚障害 ※1	22	浮具使用	◎	◎	◎		◎				
23			視力0から0.01まで ※2	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく 機能障害	24	その他の視覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○		
		25	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○	
知的障害	26	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

※1 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。
 ※2 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

3 アーチェリー

●男女別

		区分番号	障害区分	リカーブ		コンパウンド	
				50m・30m	30m・30m	50m・30m	30m・30m
肢体不自由	脳原性麻痺以外で車いす常用	1	第8頸髄まで残存	●	●	●	●
		2	その他の車いす	●	●		
	切断・機能障害	3	上肢障害	●	●		
		4	下肢障害(椅子・車いす使用を含む)	●	●		
		5	体幹	●	●	●	●
	6	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	●	●			
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害		7	聴覚障害	●	●		
内部障害		8	ぼうこう又は直腸機能障害	●	●		

※「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

4 卓球・サウンドテーブルテニス

◎男女別、年齢区分別 ●男女別

			区分番号	障害区分	卓球	STT
肢体不自由	1	上肢障害	1	片上肢障害	◎	
			2	両上肢障害	◎	
		下肢障害	3	片下腿切断、片下肢不完全	◎	
			4	片大腿切断、両下腿切断 片下肢完全、両下肢不完全	◎	
			5	片下腿・片大腿切断 両大腿切断、両下肢完全	◎	
			6	体幹	◎	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常用、使用	7	第8頸髄まで残存 ※1	◎	
			8	座位バランスなし	◎	
			9	その他の車いす	◎	
	3	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	10	車いす使用	◎	
			11	杖・松葉杖使用	◎	
			12	上肢に不随意運動あり	◎	
			13	上肢に不随意運動なし	◎	
			14	片側障害	◎	
視覚障害 ※2		15	アイマスク・アイシェード有り ※3		◎	
		16	アイマスク・アイシェード無し	◎		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能障害、そしゃく機能障害		17	聴覚障害	◎		
知的障害		18	知的障害	◎		
精神障害		19	精神障害	●		

※1 「第8頸髄まで残存」には、「第6頸髄まで残存」および「第7頸髄まで残存」は出場できるものとする。

※2 視力・視野の程度に関わらず、アイマスクまたは、アイシェードの有無で出場競技を分ける。

※3 障害区分15は、各自で用意した光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

5 フライングディスク

◇区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由	◇	◇	●	●
視覚障害				
聴覚障害				
知的障害				
内部障害(ぼうこう又は直腸機能障害)				

6 ポッチャ

△男女混合・年齢区分なし

			区分番号	障害区分・解説	競技スタイル	
					立位	座位
肢体不自由	1	切断・機能障害	1	多肢切断・両下肢完全・ 両上肢不完全および両下肢不完全	△	
	2	脳原性麻痺以外で車いす常 用、使用	2	第6頸髄まで残存		△
			3	第7頸髄まで残存		△
			4	第8頸髄まで残存		△
			5	多肢切断		△
	3	脳原性麻痺(脳性麻痺、脳血 管疾患、脳外傷等)	6	四肢麻痺で車いす常用		△
			7	けつて移動		△
			8	片上下肢で車いす常用、または使用		△
			9	その他走不能	△	
	4		10	電動車いす常用		△

※ 座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※ 移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な者にスポーツアシスタントを1名、ランプ使用者にはランプオペレーターを1名のみつけることができる。

※ 立位で競技する選手については、安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。

※ 脳原性麻痺で四肢に可動域制限や協調運動障害がある者で上肢による車いす使用者はすべて四肢麻痺(区分6)として区分判定する。

※ 区分10は、四肢もしくは三肢体幹機能障害により電動車いすを常用している者を対象とする。

7 ボウリング

知的障害者で男女別、年齢区分別に実施する。

8 バスケットボール

知的障害者で男女別に実施する。

9 車いすバスケットボール

肢体不自由者の車いす使用者のみの競技とする。

10 ソフトボール

知的障害者のみの競技とする。

11 ブラインドベースボール

視覚障害者のみの競技とする。

12 バレーボール

聴覚障害者と知的障害者で、男女別に実施する。

精神障害者は、男女混合とする。

13 サッカー

知的障害者のみの競技とする。

14 フットソフトボール

知的障害者のみの競技とする。

第 22 回栃木県障害者スポーツ大会競技実施要項

1 競技運営

(1) 個人競技

ア 同一競技内で出場できる場合は、次のとおりとする。

出場種目

2 種目まで出場できる。ただし、陸上競技及びアーチェリー競技においては1種目とする。(陸上競技の4×100mリレーは除く)

イ 男女別に実施する。

ただし、フライングディスクのアクセラシー種目は除く。

ウ 予選は行わず、年齢区分、障害区分等による組み合わせを行い、各組を単位として一回の決勝競技とする。

エ 出場者の少ない種目は、別の年齢区分の者又は別の組み合わせの者と一緒に競技させることがある。この場合、順位の設定、記録の認定及び表彰は各年齢区分別又は組み合わせごとに行う。

オ フライングディスクについては、障害区分、年齢区分はないが、競技実施(組み合わせ編成)については、年齢順で行う。

カ ボッチャについては、「立位の部」、「座位の部」それぞれの個人戦を行う。

(2) 団体競技

チーム編成は、バスケットボール及びバレーボール(聴覚障害の部、知的障害の部)は男女別、バレーボール(精神障害の部)は男女混合とし、他の競技は男女混合を可とする。

2 表彰

(1) 個人競技の各競技種目の組ごとに1位から3位の者にメダルを授与する。

(2) 団体競技の優勝チーム、準優勝チームに賞状、メダルを授与する。

3 参加申込み

(1) 申込みの流れ

住所地の市町で申込みを行い、市町ごとに栃木県障害者スポーツ協会(以下、「スポーツ協会」という)へ申し込むこと。

ただし、施設、学校、福祉作業所に所属する者は、所属ごとにスポーツ協会へ申し込むこと。

(2) 出場申込書及び様式について

各選手団は、栃木県障害者スポーツ協会ホームページの「栃木県障害者スポーツ大会・出場申込書ダウンロード」専用ページ(<https://syospo-tochigi.org/private/4348/>)から該当ファイル(Excel)をダウンロードすること。

【申込書の様式】

- ① 選手団基本表 (様式1-1号)
- ② 大会出場人員調 (様式1-2号)
- ③ 陸上競技申込書 (様式2-1号)
- ④ 卓球・サウンドテーブルテニス申込書 (様式2-2号)
- ⑤ アーチェリー申込書 (様式2-3号)
- ⑥ フライングディスク申込書 (様式2-4号)
- ⑦ 水泳申込書 (様式2-5号)
- ⑧ ボッチャ申込書 (様式2-6号)
- ⑨ ボウリング申込書 (様式2-7号)
- ⑩ 陸上競技4×100mリレー申込書 (様式3号)

(3) 申込期限

ア 個人競技

令和8(2026)年3月18日(水)必着

【個人競技特例2次申込】

令和8(2026)年4月7日(火)必着

※学校(特別支援学校・学級等)や障害者施設の新入生・新規利用者を対象とする。

イ 団体競技

※調整中

(4) 申込書の提出方法

入力上の注意事項を参考に、直接ファイルに入力のうえ、電子メールで回答すること。

電子メールメッセージ作成の際は“件名”に選手団番号のみを入れること。

メールアドレス kenspo@syospo-tochigi.org

(5) 留意事項

ア 知的障害者の陸上競技 800m及び 1500mに参加する者は、次の記録を満たしていること。

800m 男子 4分30秒 女子 5分30秒

1500m 男子 8分00秒 女子 10分00秒

イ アーチェリーは、リカーブ部門又はコンパウンドボウ部門のいずれかの1種目に申込みことができる。

ウ フライングディスクは、アキュラシー1種目とディスタンス計2種目に申込みことができる。

4 ゼッケン（アスリートビブス）

(1) 個人競技（水泳を除く）に出場する選手は、競技用の服装に必ずゼッケンを付けること。

ゼッケンの色は、障害部門ごとに次のように色分けし、数字は黒字とする。

- ・ 肢体不自由者 [白]
- ・ 視覚障害者 [薄緑]
- ・ 聴覚障害者 [黄]
- ・ 知的障害者 [桃]
- ・ 内部障害者 [水色]
- ・ 精神障害者 [薄茶]

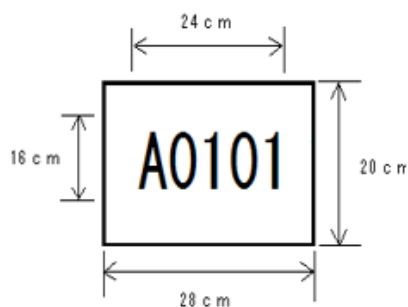
(2) ゼッケンの作成

① ゼッケン用の布は、各選手団で準備し使用すること。また、ゼッケン用の布を補充する場合は、下記に倣って黒字で太く作成すること。なお、補充用のゼッケン布については各選手団で準備すること。

② 卓球（サウンドテーブルテニス含む）に出場する選手のゼッケンは、下記に倣って黒字で太く作成すること。

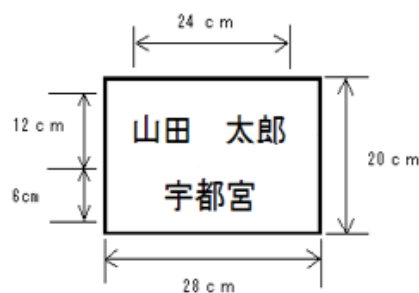
(3) ゼッケンは、原則として競技用服装に縫い付けること。（安全ピン可）

①ゼッケン（卓球以外）の記入例



↑ ↑
選手団番号 個人番号
(A01) (01)

②ゼッケン（卓球・サウンドテーブルテニス）の記入例



5 その他

(1) この要項に定めるもののほか、競技運営上必要な事項は、競技ごとに競技運営主管団体と協議の上、競技実施要領に定める。

(2) 大会当日は、競技会場にテレビ局、新聞社等報道機関が来場し、選手の氏名・写真・映像が報道されることがある。また、大会プログラムやホームページ等に選手の氏名、障害区分（重複障害を含む。）、年齢区分、選手団名、競技中の写真や競技記録等を掲載する場合がある。

大会日程

時間	栃木県総合運動公園		とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター			宇都宮市みずほの中央公園	栃木県総合運動公園	宇都宮第二 トーヨーボウル
	カンセキスタジアムとちぎ	多目的広場 (投てき場)	メインアリーナ	STI室	メインアリーナ	アーチェリー場	日環アリーナ栃木 屋内水泳場	
	陸上競技	フライングディスク	卓球	サウンド テーブルテニス	ポッチャ	アーチェリー	水泳	ボウリング
期日	5/17 (日)						5/24 (日)	
8:00	8:00選手団受付開始	8:00選手団受付開始	8:00選手団受付開始	8:00選手団受付開始			8:30選手団受付開始	
9:00	開会式	開会式	8:40招集開始 9:00競技開始	8:40招集開始 9:00競技開始		9:00選手団受付開始		
	9:15招集開始						9:30開始式	
10:00	9:45競技開始	9:45招集開始 10:00競技開始				9:30用具検査 10:00競技開始	9:45招集開始 10:00競技開始	
11:00		アキュラシー		11:00競技終了				
12:00		11:45競技終了					11:55競技終了	
			12:00競技終了		12:15選手団受付開始			
13:00		13:00競技開始			12:45招集開始 13:00競技開始	12:30競技終了		12:30選手団受付開始
14:00		ディスタンス						13:30競技開始
15:00	14:35競技終了	14:30競技終了						14:45競技終了
		閉会式						
16:00					16:20競技終了			

大会役員名簿

No.	役名	職名	氏名	備考
1	会長	栃木県知事	福田 富一	
2	副会長	栃木県教育委員会教育長	中村 千浩	
3		宇都宮市長	佐藤 栄一	
4		社会福祉法人栃木県社会福祉協議会会長	石崎 金市	
5		栃木県身体障害者団体連絡協議会会長	麦倉 仁巳	
6		栃木県特別支援学校長会会長	石井 亮	
7		特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会会長	菊地 月香	
8		一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会会長	小島 幸子	
9		栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会会長	宮堀 宏恵	
10		一般財団法人栃木県精神衛生協会会長	朝日 公彦	
11		特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会会長	駒崎 茂	
12		顧問	一般財団法人栃木陸上競技協会会長	板橋 一好
13	栃木県水泳連盟会長		螺良 昭人	
14	栃木県パラアーチェリー協会会長		田名網 崇	
15	一般社団法人栃木県卓球連盟会長		相良 健治	
16	栃木県障害者フライングディスク協会会長		櫻井 康生	
17	栃木県ポッチャ協会会長		木下 卓己	
18	一般社団法人栃木県バスケットボール協会会長		小曾戸 和彦	
19	栃木県ソフトボール協会会長		大島 英世	
20	栃木県バレーボール協会会長		織田 祐蔵	
21	栃木県サッカー協会会長		鈴木 武明	
22	栃木県パラスポーツ指導者協議会会長		服部 隆志	
23	栃木県保健福祉部長	佐野 圭吾		
24	委員長	栃木県教育委員会事務局健康体育課長	熊木 則裕	
25	副委員長	栃木県教育委員会事務局特別支援教育課長	木戸 朋子	
26		宇都宮市保健福祉部長	木村 晴信	
27		社会福祉法人栃木県社会福祉協議会事務局長	法師人 昇	
28		栃木県身体障害者団体連絡協議会理事(視覚)	渡辺 博之	
29		栃木県身体障害者団体連絡協議会理事(聴覚)	稲川 和彦	
30		特定非営利活動法人栃木県障害施設・事業協会副会長	井上 憲一	
31		一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会常務理事兼事務局長	石川 一夫	
32		特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会事務局長	阿久津 好彰	
33		公益財団法人栃木県スポーツ協会理事長	北條 俊明	
34		委員	一般財団法人栃木陸上競技協会理事長	渡邊 方夫
35	栃木県水泳連盟理事長		長谷川 嘉明	
36	栃木県パラアーチェリー協会事務局長		田名網 恵子	
37	一般社団法人栃木県卓球連盟理事長		久保井 圭子	
38	栃木県障害者フライングディスク協会事務局長		兼弘 真由実	
39	栃木県ポッチャ協会事務局長		阿久津 誠	
40	一般社団法人栃木県バスケットボール協会専務理事		鈴木 克美	
41	栃木県ソフトボール協会理事長		阿久津 静	
42	栃木県バレーボール協会理事長		山口 幸雄	
43	栃木県サッカー協会専務理事		鈴木 勇	
44	栃木県パラスポーツ指導者協議会事務局長		大木 一弘	
45	栃木県市町村教育委員会連合会会長		大澤 真弓	
46	社会福祉法人とちぎ健康福祉協会理事長		小川 俊彦	
47	日本赤十字社栃木県支部事務局長		柏瀬 仁	
48	栃木県民生委員児童委員協議会会長		釘持 幸子	
49	栃木県肢体不自由児者父母の会連合会会長		小林 厚子	
50	栃木県青少年団体連絡協議会会長		矢野 優	
51	栃木県地域婦人連絡協議会会長		寺山 厚子	
52	栃木県ボランティア連絡協議会会長		小西 久美子	
53	栃木県手話通訳問題研究会会長		井腰 香織	
54	栃木県保健福祉部障害福祉課長		小川 元子	

参加選手数一覧

No.	選手団 番号	選手団名	個人競技							合計
			陸上競技	卓球	アーチェリー	フライング ディスク	水泳	ボッチャ	ボウリング	
1	B02	益子町	0	0	0	0	1	0	0	1
2	B03	茂木町	0	1	0	7	0	0	1	9
3	B04	市貝町	0	2	0	15	0	0	0	17
4	B05	芳賀町	5	0	0	3	1	0	0	9
5	B06	光輝舎	2	0	0	3	0	0	0	5
6	B07	県立益子特別支援学校	11	2	0	9	1	0	0	23
7	B08	美里学園	4	1	0	5	0	0	0	10
8	B11	友愛作業所	8	0	0	9	0	0	0	17
9	B25	手仕事工房そら	1	0	0	7	0	0	0	8
10	B26	グループホームシェリ	2	1	0	1	0	0	0	4
11	C01	壬生町	1	0	0	0	2	0	1	4
12	C10	せせらぎ	0	4	0	0	0	0	0	4
13	C21	多機能事業所こすもす	0	0	0	0	1	0	0	1
14	D15	なかが和苑	0	0	0	2	0	0	0	2
15	E02	高根沢町	0	0	0	2	0	2	0	4
16	E03	ライキ園	0	0	0	3	0	0	0	3
17	E04	いぶきの里	16	0	0	6	0	0	0	22
18	E12	高根沢町立北高根沢中学校	0	0	0	0	1	0	0	1
19	G01	上三川町	0	4	0	1	0	1	0	6
20	H01	宇都宮市	25	7	4	4	6	3	0	49
21	H02	県立盲学校	6	2	0	0	0	0	0	8
22	H03	県立聾学校	7	5	0	0	0	0	0	12
23	H04	県立のざわ特別支援学校	10	0	0	1	0	4	0	15
24	H08	ハートフィールド	2	0	0	1	0	0	0	3
25	H09	県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園	13	12	0	4	2	0	7	38
26	H10	とちぎライトセンター	0	2	0	4	0	0	0	6
27	H11	県立富屋特別支援学校	15	0	0	7	0	0	0	22
28	H12	宇都宮大学教育学部附属特別支援学校	11	0	0	4	0	0	0	15
29	H20	しのいの郷	1	0	0	0	0	0	0	1
30	H26	SON・栃木	16	7	0	0	18	0	3	44
31	H29	戸祭作業所	0	0	0	0	0	0	2	2
32	H32	生活介護はなみずき	0	0	0	0	0	1	0	1
33	H33	ハート飛山	10	0	0	3	0	0	0	13
34	H35	幸空	0	0	0	7	0	0	0	7
35	H59	ひびき	15	0	0	1	0	0	0	16
36	H63	有限会社コパン	0	1	0	0	0	0	0	1
37	H65	グループホームHUG-KUMI	2	0	0	0	0	0	0	2
38	H66	宇都宮文星女子高等学校	0	1	0	0	0	0	0	1
39	H67	イチゴノキ	0	0	0	1	0	0	0	1
40	J01	足利市	7	6	2	7	3	0	2	27
41	J02	愛光園	17	0	0	1	0	0	0	18
42	J03	県立足利特別支援学校	0	0	0	1	0	0	0	1
43	J04	県立足利中央特別支援学校	18	0	0	10	1	0	1	30
44	J05	かしわ荘	3	0	0	3	0	0	7	13
45	J08	ルンビニー園	0	0	0	0	1	0	0	1
46	J12	栃の葉荘	0	0	0	6	0	0	0	6
47	J15	らふ	0	0	0	5	0	0	0	5
48	K01	栃木市（※旧岩舟町含む）	5	3	0	7	1	0	0	16
49	K03	県立栃木特別支援学校	19	1	0	3	0	0	0	23
50	K07	ゆうの家事業所	0	2	0	0	0	0	0	2
51	K30	ハートフルふきあげ大森事業所	5	3	0	0	0	0	0	8

参加選手数一覧

No.	選手団 番号	選手団名	個人競技							合計
			陸上競技	卓球	アーチェリー	フライング ディスク	水泳	ボッチャ	ボウリング	
52	K31	梅の実	0	0	0	7	0	0	0	7
53	L01	佐野市	7	1	2	8	1	0	0	19
54	L02	とちのみ学園	0	0	0	9	0	0	0	9
55	L03	こなかの森	4	0	0	5	0	0	0	9
56	L04	和泉	3	0	0	5	0	0	0	8
57	L05	フロム浅沼	6	0	0	2	0	0	0	8
58	L17	どんぐり	5	0	0	6	0	0	0	11
59	M01	鹿沼市	4	2	0	8	0	2	0	16
60	M19	県立富屋特別支援学校鹿沼分校	4	0	0	1	0	0	0	5
61	N01	日光市	0	0	0	3	1	0	0	4
62	N03	皇海荘	0	0	0	6	0	0	0	6
63	N04	第二皇海荘	1	2	0	0	0	0	1	4
64	N05	県立今市特別支援学校	9	1	0	6	0	0	0	16
65	N06	すぎなみき学園	7	0	0	11	0	0	0	18
66	N07	夢の森	0	0	0	10	0	0	0	10
67	N15	より道	0	0	0	14	0	0	0	14
68	N18	すかい寮きぬ川	0	0	0	0	0	0	1	1
69	Q01	小山市	3	2	0	2	1	1	0	9
70	Q07	パステル(フロンティアおやま)	5	6	0	8	0	0	1	20
71	Q21	県立小山南高校	1	0	0	0	0	0	0	1
72	R01	真岡市	1	2	0	4	1	1	0	9
73	R07	真岡市立真岡東中学校	0	1	0	0	0	0	0	1
74	R11	真岡市立中村中学校	3	0	0	0	0	0	0	3
75	R15	ハート二宮	10	0	0	0	0	0	0	10
76	R16	SBワークス真岡	0	0	0	1	0	0	0	1
77	S01	大田原市	1	2	1	15	0	0	1	20
78	S03	那須共育学園	0	0	0	0	0	0	6	6
79	S04	エルムの園	3	0	0	0	0	0	0	3
80	S05	SELPみなと	3	2	0	2	0	0	1	8
81	S06	かりいほ	7	0	0	1	0	0	12	20
82	T01	矢板市	3	2	1	1	1	1	0	9
83	T03	たかはら学園	7	0	0	8	0	0	0	15
84	U01	那須塩原市	7	3	0	1	1	0	2	14
85	U03	県立那須特別支援学校	17	0	0	2	0	0	0	19
86	U06	ワークス共育	0	0	0	6	0	0	0	6
87	V01	さくら市	4	0	0	7	0	0	0	11
88	V02	清風園	6	0	0	1	0	0	0	7
89	V03	桜ふれあいの郷	14	0	0	19	0	0	0	33
90	V09	障害者自立支援センター桜花	5	0	0	3	0	0	0	8
91	W01	那須烏山市	0	1	0	0	0	0	0	1
92	W02	県立南那須特別支援学校	16	1	0	6	0	0	0	23
93	W03	大和久福社会	5	4	0	11	0	0	0	20
94	W04	みつわ工房	18	0	0	17	0	0	0	35
95	X01	下野市	0	0	0	0	1	1	0	2
96	X02	県立国分寺特別支援学校	12	0	0	8	1	0	0	21
97	X03	工房つばさ	10	0	0	1	0	0	0	11
98	X04	国分寺学園	19	0	0	0	0	0	0	19
99	X08	野のはな舎	3	0	0	2	0	0	0	5
100	X12	下野市身体障害者福祉会	0	0	0	7	0	0	0	7
合 計			490	99	10	387	47	17	49	1099

競技編

ボウリング

会場：宇都宮第二トーヨーボウル

ボウリング競技実施要領

1 競技規則

令和 8（2026）年度の「全国障害者スポーツ大会競技規則集（令和 8 年 4 月 1 日第 27 版発行）」及び同年度の（公財）JAPAN BOWLING 制定ボウリング競技規則によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 招集

受付後、選手は指定されたボックスに招集し、開始式の開始 10 分前に完了する。

3 競技者の服装等

- (1) 服装は、ボウリング競技をする上で支障のないものを着用する。
- (2) ソックスを必ず履くこと。

4 競技方法

- (1) 試合の方法は、フレームごとに、左右の 2 つのレーンを交互に投球するデュアルレーン（アメリカン）方式で行う。
- (2) 競技は、すべてスクラッチ 2 ゲーム（ハンディキャップ無し）とし、その合計得点により順位を決定する。
※順位決定の際、同点の成績の場合はゲームローハイ（スコアの最も高いゲームとスコアの最も低いゲームの差のこと）にて決定する。
- (3) 1 ゲームごとに交代で投球する。
- (4) 投球練習は、競技開始前に競技役員の指示により、各選手が競技を行う 2 つのレーンで 10 分間行う。
- (5) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側レーンの選手を優先する。
- (6) ファウルについては、会場に備え付けの自動式ファウル判定機を使用する。
- (7) オートマチックスコアラ（操作盤）の操作は、全て競技役員が行う。
- (8) 競技は、競技日程に基づき実施し、すべて競技役員の指示で行う。

5 番号布（ゼッケン）

競技用服装の上衣の胸部及び背部に縫い付けること。（安全ピン可）

6 その他

- (1) 選手は、競技中ボウラーズベンチを離れてはならない。やむを得ず離れる場合は、必ず競技役員に申し出ること。
- (2) 選手以外にボウラーズベンチを除くボウラーズエリアへ入ることができる者は、競技役員のほか、各選手団の監督またはコーチ 1 名とする。各選手団の監督またはコーチが立ち入ることができるエリアは、自チームが競技しているボックスのみとする。
- (3) 競技会場のハウスボール及びハウスシューズを使用する場合は、参加申込書（様式第 2-7 号）にその旨を記載すること。
ア ハウスシューズ・・・ボウラーズベンチ後方の通路で履き替えること。
イ ハウスボール・・・競技終了後、速やかに元の場所に返却すること。
- (4) 参加費は 1,100 円とする。

競 技 日 程

	開始時刻	終了時刻	日 程	備 考
5月17日 (日)	12:30	12:50	選手受付	
	13:20	13:30	投球練習	
	13:30	14:45	競技	デュアルレーン方式で2G

競 技 役 員 名 簿

■ 栃木県パラスポーツ指導者協議会ボウリング専門委員会

競技委員長 狭間 芳美

審判員 早川 正二

審判員 角田 竣太郎

■ 競技ボランティア 早川 光

■ 看護師

表彰組	1	少年男子
-----	---	------

大会記録	316
------	-----

BOX1-2

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
1	1	H09 31	手塚 颯也	宇都宮青葉	少年						
	2	H09 32	本多 大空	宇都宮青葉	少年						
2	1	H26 02	南波 大翔	SON栃木	少年						
	2	J04 25	島田 悠利	足利中央特校	少年						
	3	H09 37	瀧深 優生	宇都宮青葉	少年						

表彰組	2	青年男子
-----	---	------

大会記録	395
------	-----

BOX3-4

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
3	1	H09 38	塩原 遥斗	宇都宮青葉	少年		表彰組1				
	2	H29 01	小林 聖	イクセイカイ	青年						
4	1	J01 18	町田 靖晃	足利市	青年						
	2	J05 08	癸生川 航平	かしわ荘	青年						
	3	S06 10	薄井 稜	かりいほ	青年						

BOX5-6

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
5	1	J05 14	亀井 俊貴	かしわ荘	青年						
	2	S01 02	矢板 祐介	大田原市	青年	肢					
6	1	S03 02	屋代 諄也	那須共育学園	青年						
	2	S06 09	吉田 翼	かりいほ	青年						
	3	H26 01	山田 大地	SON栃木	青年						

表彰組	3	壮年男子
-----	---	------

大会記録	307
------	-----

BOX7-8

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
7	1	B03 10	阿嶋 翔太	茂木町	壮年						
	2	H29 02	吉成 裕介	イクセイカイ	壮年						
8	1	J01 42	亀田 直樹	足利市	壮年						
	2	J05 10	佐藤 英夫	かしわ荘	壮年						
	3	J05 11	増井 一夫	かしわ荘	壮年						

BOX9-10

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
9	1	N04 04	塚越 徹	第二皇海荘	壮年						
	2	S03 01	河野 隆夫	那須共育学園	壮年						
10	1	S03 03	善甫 紳一朗	那須共育学園	壮年						
	2	S03 04	笹沼 義治	那須共育学園	壮年						
	3	S03 05	山田 浩司	那須共育学園	壮年						

BOX11-12

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
11	1	S03 06	太田 千秋	那須共育学園	壮年						
	2	S05 08	今井 重忠	みなと	壮年						
12	1	S06 11	浅田 晶	かりいほ	壮年						
	2	S06 12	佐久間 明生	かりいほ	壮年						
	3	S06 13	井出 重信	かりいほ	壮年						

BOX13-14

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
13	1	S06 14	佐々木 高広	かりいほ	壮年						
	2	S06 15	望月 利浩	かりいほ	壮年						
14	1	S06 16	高橋 良友	かりいほ	壮年						
	2	S06 17	竹村 圭介	かりいほ	壮年						

表彰組 4

少年女子

大会記録

260

BOX15

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
15	1	H09 28	西根 優愛	宇都宮青葉	少年						
	2	H09 29	石橋 沙菜	宇都宮青葉	少年						
16	1	H09 30	佐藤 なな子	宇都宮青葉	少年						
	2	H26 03	加藤 美晴	SON栃木	青年		表彰組5				
	3	J05 13	渡邊 涼子	かしわ荘	青年		表彰組5				

表彰組	5	青年女子
-----	---	------

大会記録	319
------	-----

BOX16

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
17	1	U01 13	中村 希空	那須塩原市	青年						
	2	J05 12	植原 義枝	かしわ荘	壮年		表彰組6				
18	1	S06 19	北村 桂子	かりいほ	壮年		表彰組6				
	2	S06 20	相澤 葉子	かりいほ	壮年		表彰組6				
	3	U01 14	西海 純子	那須塩原市	壮年		表彰組6				

表彰組	6	壮年女子
-----	---	------

大会記録	219
------	-----

BOX17-18

レーン	投球順	選手番号	選手氏名	選手団名	年齢区分	重複	特記事項	1G	2G	合計	順位
19	1	C01 04	宮本 恵	壬生町	壮年						
	2	J05 09	堀 恵	かしわ荘	壮年						
20	1	N18 01	真山 尚美	すかい寮きぬ	壮年						
	2	Q07 21	鶴田 睦美	パステル	壮年						
	3	S06 18	星野 文絵	かりいほ	壮年						

凡例〈特記事項・補装具〉

略記号	説明
伴右	陸上競技の障害区分24または25の競走競技で、伴走者を同伴(右レーン使用)
伴左	陸上競技の障害区分24または25の競走競技で、伴走者を同伴(左レーン使用)
音	陸上競技の障害区分24または25の競走競技で、競技役員による声や音響の援助を希望
杖	杖
松1	松葉杖(1本)
松2	松葉杖(2本)
ク1	クラッチ(1本)
ク2	クラッチ(2本)
両駆	車椅子一両手駆動
片駆	車椅子一片手駆動
足駆前	車椅子一足駆動(前向・手と足併用を含む)
足駆後	車椅子一足駆動(後向・手と足併用を含む)
電4.5	電動車椅子(4.5km/h以下)
電6.0	電動車椅子(4.5km/h超6kmh以下)
他	その他
左投	フライングディスク競技で左腕投盤を希望
介	特段の理由により競技場内に同伴する介護者を希望
手	手話通訳を希望
要	要約筆記を希望